



相崎佐和子

立憲民主党兵庫県参議院第1総支部長 / 兵庫県議会議員

マニフェスト大賞受賞

【学歴】 親和中・高、奈良教育大卒、奈良教育大院修士
 【職歴】 アナウンサー、兵庫県広報専門員、市議会議員（3期）を経て現在は県議会議員



2022年



桜井シュウ

立憲民主党衆議院兵庫第6区総支部長 / 衆議院議員



三ツ星国会議員★★★★

【学歴】 南中、県立伊丹高、京都大卒、京都大院修士、ブラウン大院修士
 【職歴】 国際協力銀行、弁理士、市議会議員（2期）を経て現在は衆議院議員



物価高を抑える、収入を増やす、生活を守る!

「値上げラッシュで生活が苦しい!」「給料が上がらないのに物価だけ上がる」「仕入れの値段が上がって経営が苦しい」という声を聞きます。4月の消費者物価指数（総務省発表）は2.5%の上昇（前年同月比）ですが、生鮮食品（12.2%）や電気（21.0%）・都市ガス（23.7%）の値上げが大きく暮らしを直撃しています。この原因は、



衆議院第一委員室での質疑

輸入物価指数（日本銀行発表）が44.6%（前年同月比）と大きく上がったこと、その背景には円安があります。桜井シュウは、暮らしを守るための政策を提案しています。

【提案1】消費税を税率5%に減税!

現状は、給料アップなき物価上昇で、家計の負担が増大する「悪い物価上昇」です。すぐに効果の出る政策として、消費税を時限的に税率5%に減税します。

【提案2】円安誘導政策を見直す!

欧米では、物価高騰抑制のために金利を引き上げています。しかし、日本はアベノミクスの「異次元金融緩和」が続いており、内外金利差の拡大により円安が進み、原材料やエネルギーの輸入物価が上昇する「悪い物価上昇」が進んでいます。市場への影響に配慮しつつ、過度な円安誘導の金融政策を見直します。

収入を増やす。年金を守る。

【提案1】最低賃金を1,500円に！

一日8時間労働でまっとうな生活ができる賃金を保障します。現在、約928円（兵庫県）の時給を段階的に1,500円に引き上げます。

最低賃金があがっても、自分には関係ないと思われるかもしれません。しかし、賃金が底上げされると全体の賃金も押し上げられます。こうした経済効果は、既に最低賃金を段階的に引き上げてきたイギリスや韓国で確認されています。

【提案2】サービス残業禁止を徹底！

残業しても残業代がつかない、いわゆるサービス残業が未だに横行しています。サービス残業は違法なので正確な実態は分かりませんが、少なくとも全国で5兆円以上といわれています。

労働基準監督署の立ち入り調査の徹底により、この未払いの5兆円の残業代が確実に支払われるようにします。

【提案3】派遣労働を直接雇用に切り替え！

派遣労働は、毎月、派遣で働いた人から派遣会社がピンハネし続けます。こんな不条理な制度は、世界中探しても日本だけにしかありません。

派遣労働は原則（専門職を除いて）廃止とし、非正規雇用・短時間勤務（パートタイム）であっても直接雇用にします。これにより、働いた人が働いた分を全額受け取れる、当たり前の仕事にします。

【提案4】保育・介護などの給料引上げ！

介護など福祉分野では、恒常的に人手不足です。高齢者福祉施設への入居希望者がなかなか入居できない場合が少なくありません。全国で介護離職者は毎年約10万人です。人手不足の中、介護離職で人手不足に拍車がかかって

しまいます。

介護・保育など福祉分野が人手不足なのは、給料水準が低い（全産業平均と比べて月額約8万円も低い）ことが原因の一つです。せめて他の産業に遜色のないレベルの給料を確保することで、福祉人材を確保します。国が決定する介護報酬に基づいて、福祉施設が介護職員の給料を決めます。つまり、介護など福祉分野の給料には国が大きく関与できます。

介護離職と保育所待機児童をなくす。働きたい人が働き続けられる社会をめざします。これにより家計が潤い、日本国内の消費も増えます。所得税など税収も増えます。これが、経済の好循環を生み出します。

【提案5】企業利益はまず賃金へ！

日本企業の利益はこの20年間で3倍に増えましたが、人件費はほとんど増えてませんでした。この利益の多くは、株主配当と内部留保に回っています。

しかし、これでは長期的視点にたった経営はできません。会社が持続的な成長を達成するためには、人材育成と研究開発です。まずは、給料を増やして人材を育てることに会社がかを入れられるように、会社法を改めて、株主至上主義を排します。

【提案6】物価に負けない年金に！

「値段は上がっているのに、年金はドンドン減っている！」というお声を聞きます。年金カット法（安倍内閣2016）で、物価に負け続ける年金になってしまいました。桜井シュウは、年金カット法を見直し、年金の最低保障機能を強化することで「物価に負けない」年金を実現します。

天下国家は一人一人の個人を大切にすることから!



相崎佐和子

(桜井) 相崎佐和子さんの、市議・県議15年間を通して一貫したスタンスは、「あなたの声を政治の場に届ける! 叶える!」であり、このた

び国に声を上げるんだと、強い想いで立ち上がられました。大いに期待しています。一方で、国政で力を発揮するなら天下国家のお考えもお聞きしたいです。

(相崎) 日本は、戦後77年の中で未曾有の危機に直面しています。バブル経済が崩壊して以降、経済は長らく停滞しています。少子高齢化と人口減少、それらに伴う社会保障のいたみ。それらの矛盾を引き受けての財政の悪化。世界に目を向ければ、地球温暖化などの環境破壊、国際紛争、感染症の蔓延など。国会議員は、日本国内の課題はもちろんのこと、世界の課題にも取り組まねばなりません。相崎佐和子は、これらの課題に真正面から取り組みます。

(桜井) 地球温暖化や日本の経済と社会の停滞は慢性的に続くものであり、自覚症状を持ちにくい点がやっかいです。そして、慢性的であることに乗じて、問題に目を背け、問題を先送りしてきたのがこれまでの政治。それが国民の不安と閉塞感の根本にあります。

(相崎) 社会は個人の集まりです。一人一人の個人がかけがえのない存在です。一人一人を大事にすることこそ、課題解決の出発点です。例えば、少子化と人口減少の一因

は、子どもを産み育てたくてもそれが叶わない状況であることです。私は子どもが二人いますが、1人目は出産時に雇止めにあい、2人目



桜井シュウ

は保育所の待機児童になりました。これでは安心して産み育てることができません。少子化を解決するには、子育てする個人を社会が支えることです。個人の問題は社会の問題でもあるのです。子育ては自己責任、家庭の責任と言っているのは、少子化は解決できません。

(桜井) 出産の以前に「給料が少ないから結婚できない」という声もあります。今年3月3日の経済財政諮問会議での内閣府の資料によれば、この25年で子育て世代にあたる30～40歳代の所得が100～200万円低下しています。この背景には、小泉構造改革での非正規雇用の拡大があります。桜井シュウと立憲民主党は、マジメに働けばそれなりの生活ができる、ワーキング・プアをなくす、分厚い中間層を取り戻すための政策を提案しています。

(相崎) ここで注意すべきは「中間層」という人間がいる訳ではないこと。いるのは一人一人の個人です。ですから、一人一人の悩みに向き合うこと、それが社会全体の問題解決に繋がります。だからこそ、相崎佐和子は、一人一人の声を受け止めて、届けて叶えたいのです!

【次号につづく】



相崎佐和子(あいざき さわこ)

立憲民主党兵庫県**参議院**選挙区
第一総支部長／兵庫県議会議員

日本は少子化・高齢化・人口減少により、今後、ますます働き手が不足します。女性や高齢者などを含めて全ての働きたい人が、働くことができる社会にしたい。全ての方々が生きがいをもって暮らせる社会をつくりたい。

しかし、現状は、保育所待機児童や介護離職など働き続けにくい社会になってしまっています。相崎佐和子は、お互いさまで支え合う社会、ベーシック・

サービスを十分に提供できる安心社会をつくります。

こうした公共サービスは金喰い虫と思われるかもしれませんが、働きたい人が働き続けることで、家計が潤い、また税金を納めていただけます。家計が潤えば、消費が増えて経済が成長します。税金を納めていただければ、社会保障を賄うことができます。

一方で、キャリアをペースダウンして家庭を優先したいという専業主婦・主夫も認められるべきです。幸せのカタチは人それぞれです。カタチにこだわらずに人々の幸せづくりを応援するのが政治の役割です。

相崎佐和子は、色々な価値観と生き方をお互いに尊重しあい認め合う社会をつくります。

市民との対話集会のお知らせ

桜井シュウは、毎月第4日曜日に宝塚駅前ゆめ広場、阪急川西能勢口駅アステ川西デッキ、阪急伊丹駅北側の各所にて「市民との青空対話集会」を開催しております。しかし、6月分(26日)は参議院議員選挙期間になる公算であることから、中止します。次回は7月24日(日)に開催します。

6月26日(日)	中止(参院選期間中のため)
宝塚川西伊丹 7月24日(日)	11時～宝塚ゆめ広場、14時～アステ川西デッキ 16時～阪急伊丹駅北側
宝塚川西伊丹 8月28日(日)	11時～宝塚ゆめ広場、14時～アステ川西デッキ 16時～阪急伊丹駅北側

対話集会ですので質疑応答の時間をたっぷり取ります。質問・意見をおよせください。当日参加も大歓迎ですが、準備の都合上、事前に申込み頂けると幸いです。

(感染症対策としてマスクの着用をお願いします。また、**感染症流行状況により中止/オンラインのみ**となる場合がありますので、予めご了承下さい)

桜井シュウチャンネル

ぜひご登録ください。→



桜井周(さくらい しゅう)プロフィール

【学歴】美鈴月影幼稚園、鈴原小、南中、県立伊丹高、京都大、京都大院修士、ブラウン大院修士

【職歴】国際協力銀行調査役、弁理士、伊丹市議会議員(2期)、衆議院議員(2期)

【資格】弁理士、国会議員政策担当秘書試験合格

【家族】妻、子ども2人、犬(トイプードル♀)

三ツ星議員☆☆☆とは

議員立法の提案、本会議・委員会での審議、質問主意書などの国会活動を評価され、三ツ星議員として政策評価NPOに表彰されました!

立憲民主党兵庫県第6区総支部 政務活動報告

桜井シュウの政治活動へのご協力をお願い

●**ポスティング**

伊丹市・宝塚市・川西市の各ご家庭に配布しております。ご近所周辺など可能な範囲・枚数だけで結構ですので、ご協力をお願い致します。

●**ポスター掲示**

ご自宅の塀・外壁、駐車場のフェンスなどに桜井シュウのポスターを貼って下さい。またご近所に人通りが多く、ポスターを掲示していただけそうな場所がありましたらご紹介下さい。

●**カンパ**

一人でも多くの方に国政報告をお届けするために、カンパをお願い致します。お振込みいただく場合は、恐れ入りますが手数料のご負担をお願い致します。(※個人献金ができるのは日本国籍を持つ方に限られます。)

■**お振込先:**

三井住友銀行 伊丹支店 普通4719556「桜井周後援会」
ゆうちょ銀行 00970-8-332979「周山会」

発行 立憲民主党兵庫県第6区総支部長・衆議院議員 **桜井シュウ**

〒664-0858 伊丹市西台5-1-11
TEL ▶ 072-768-9260
FAX ▶ 072-768-9261
e-mail ▶ sakuraishu.office@gmail.com
URL ▶ https://www.sakuraishu.net



立憲民主党
立憲民主編集部
〒102-0093
東京都千代田区
平河町2-12-4 ふじビル3F
TEL 03-6811-2301
FAX 03-6811-2302
兵庫県第6区版